

明後日、2月4日は「立春」です。暦の上ではもうすぐ春が始まりますが、寒さは今が一番厳しい折です。早いもので、今の学年で過ごす日々も残り少なくなってきました。これまでの生活を振り返り、自信をもって次の学年へ進むための大切な「まとめ」の時期として指導していきます。生活指導部としては、「校内安全」の他に、「放課後の過ごし方」についても再確認していきます。



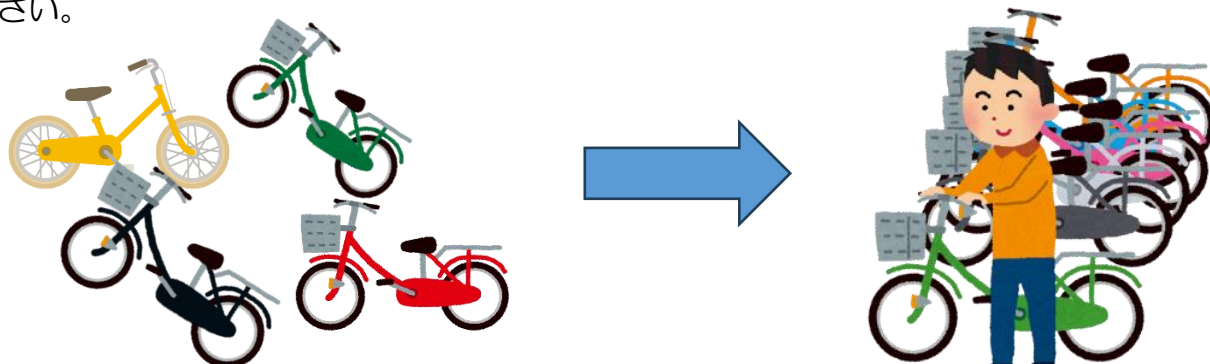
放課後の安全についてのお願い

放課後の過ごし方について、特にお子様と確認していただきたい重要なポイントが2点あります。安全な学校環境を維持するため、ご協力をお願いいたします。

正門付近の駐輪について（緊急車両の通路確保）

放課後、自転車で学校に来る際、正門を塞ぐように自転車を止めているケースが見受けられます。

学校には、けが人や急病人の搬送、火災対応などで、救急車や消防車といった「緊急車両」がいつ入ってくるかわかりません。門扉の前やスロープ付近に自転車があると、一分一秒を争う救助活動の大きな妨げになります。ご家庭でも「正門はみんなの命を守る車の通り道だよ」とお話いただき、通行の邪魔にならない端に整頓して止めるよう、繰り返しお伝えください。



知らない人についていかない（防犯意識の向上）

少しずつ日が伸びてきましたが、夕方の薄暗い時間帯は特に注意が必要です。不審な声掛けから身を守るため、改めて「い・か・の・お・す・し」の徹底をお願いいたします。

- いかない（知らない人について行かない）
- のらない（知らない人の車に乗らない）
- おおごえをだす（怖かったら「助けて！」と叫ぶ）
- すぐにげる（大人のいる方へ、こども110番の家へ走る）
- しらせる（家の人や先生、警察にすぐ話す）



「お菓子をあげる」「道を教えて」といった言葉に油断せず、一定の距離を保つようご家庭でもシミュレーションしてみてください。

先月、連絡メールでもお知らせしましたが、地域の公園で子どもたちが遊んでいたところに、不審者と思われる人に声を掛けられることがありました。知らない人には、絶対について行かないことを学校でも指導しました。